

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 21 年 6 月 4 日 (2009.6.4)

【公開番号】特開 2006-310307 (P2006-310307A)

【公開日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)

【年通号数】公開・登録公報 2006-044

【出願番号】特願 2006-120156 (P2006-120156)

【国際特許分類】

F 2 1 V 8/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 V 8/00 6 0 1 B

G 0 2 F 1/1335

G 0 2 F 1/13357

G 0 2 F 1/133 5 3 5

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 21 日 (2009.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上面及び、底面を有する材料の層を含むライトパイプ(52)であって、前記材料が、透過波長帯域の光に対して透過性であり、前記層が、前記上面、及び前記底面に交差する第 1、及び第 2 の対向する側面を有する、ライトパイプ(52)と、

前記ライトパイプ(52)内を進む光を測定するフォトディテクタ(58, 60, 72, 75)であって、前記材料の層に埋め込まれ、測定された光を示す信号を生成するフォトディテクタ(58, 60, 72, 75)と

を含む光源(50)。

【請求項 2】

前記透過帯域内の光を放射する複数の発光体(11, 101-106)を更に含み、前記発光体(11, 101-106)は前記第 1 の側面を通して前記材料の層に光を結合させるように配置される、請求項 1 に記載の光源(50)。

【請求項 3】

前記第 2 の側面に隣接するフォトディテクタ(58, 60, 72, 75)を更に含む、請求項 2 に記載の光源(50)。

【請求項 4】

前記発光体(11, 101-106)は L E D からなる、請求項 2 に記載の光源(50)。

【請求項 5】

前記発光体(11, 101-106)は、前記材料の層に対して臨界角以下の角度で前記層に光を結合させる、請求項 2 に記載の光源(50)。

【請求項 6】

前記底面は光を前記上面に向けて散乱させる突起部(22)を有する、請求項 2 に記載の光源(50)。

【請求項 7】

前記発光体(11,101-106)は、前記透過帯域内の第 1 の波長帯域の光を放射する第 1 の発光体と、前記透過帯域内の第 2 の波長帯域の光を放射する第 2 の発光体とを含み、前記第 1 の波長帯域は前記第 2 の波長帯域とは違う波長帯域である、請求項 2 に記載の光源(50)。

【請求項 8】

前記発光体(11,101-106)は観察者にとって白色光として知覚される光を放射する、請求項 2 に記載の光源(50)。

【請求項 9】

前記フォトディテクタ(60)は複数の波長帯域検出器からなり、各波長帯域検出器は、その波長帯域検出器に固有の波長帯域の光を検出するように構成される、請求項 7 に記載の光源(50)。

【請求項 10】

前記波長帯域検出器はそれぞれ、フォトダイオード(61-63)、及びバンドパスフィルタ(64-66)からなる、請求項 9 に記載の光源(50)。

【請求項 11】

前記フォトディテクタ(58,60,72,75)は複数の発光体検出器(111-116)を含み、各発光体検出器は前記複数の発光体のうちの対応する 1 つからの光を検出するように構成される、請求項 7 に記載の光源(50)。

【請求項 12】

前記フォトディテクタ(58,60,72,75)によって生成された信号に応じて前記発光体(11,101-106)により放射される光を調整するコントローラ(71)を更に含む、請求項 2 に記載の光源(50)。